２０２２年度　一般社団法人日本看護技術学会
第３回理事会　議事録

日　時：2023 年 3 月 26 日（日）14:00-16:00
会　場：TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンターカンファレンスルーム 12C
　　WEB 会議システム（ZOOM）
出席者（現地）：理　事；角濱　春美（理事長）上野　栄一、水戸　優子、若村　智子
　　事務局；伊津野
出席者（WEB）：理　事；前田　ひとみ、佐伯　由香、本庄　恵子
　　監　事；武田　利明、深井　喜代子
欠席者：大久保　暢子

議　題；
<u>報告事項</u>
１．前回議事録の確認
　2022 年度第 2 回理事会（書面）議事録を確認し、異議なく承認された。

２．第 20 回学術集会の件
　水戸大会長より資料に基づき、学術集会の開催報告があった。
1. プログラム（キーセッション：6 題、共催セミナー：2 題、一般演題：45 演題（口演 26 演題, 示説 19 演題)、交流セッション：8 演題、卒業研究交流セッション：12 演題、バーチャル展示：11 ブース）
2. 参加登録数　569 名（会員 269 名、非会員 271 名、学生 29 名）の参加登録、名誉会員 1 名、非会員のキーセッション演者・座長 12 名の計 13 名を招待
3. 収支報告　監査報告書とともに収支決算書が提示され承認された。学会繰越は 49,196 円であった。
4. 参加者アンケート結果（一部抜粋）
　調査方法：Google Forms を使用した Web アンケート
　調査期間：2022 年 11 月 5 日(土)～11 月 30 日(水)
　回答数：65（会員 39、非会員 23、学生 3)

３．第 21 回学術集会の件
　前田次期大会長より資料に基づき、学術集会の準備状況について報告された。会期：2023 年 10 月 14 日 15 日、テーマ：ニューノーマル時代と看護技術、会場：市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）熊本市国際交流会館。
1. プログラム　(2.28 時点　案)
2. 演題募集要項　（演題募集期間　2023 年 3 月 16 日(木) ～ 5 月 15 日(月)　※学術集会ＨＰよりオンライン登録。希望発表形式　【一般演題（口演/示説)】【交流セッション】【卒業研究交流セッション】を公募。

４．庶務報告

若村庶務担当理事より資料に基づき、2023 年 2 月 28 日現在の会員状況、会員数の年次推移が報告された。

５．20 周年記念事業

水戸担当理事より資料に基づき 2022 年度の活動および決算報告（経過報告）について報告があった。近日中に会員宛に発送が完了する事が報告された。冊子の残部について希望者がいれば 1,000 円で販売することとなった。

<u>審議事項</u>

６．各種委員会活動報告

編集委員会（前田委員長）

前田委員長より資料に基づき 2022 年度活動報告および 2023 年度活動計画が提示された。新査読候補者 13 名について承認された。2023 年度委員会予算　1,000,000 円

研究活動推進委員会（水戸委員長）

水戸委員長より資料に基づき 2022 年度活動報告および 2023 年度活動計画が提示された。2023 年度研究助成について第 5 回理事会（書面）にて保留となっていた 1 件について（申請者：栗田愛）承認された。2023 年度委員会予算　500,000 円

技術成果検討委員会（大久保委員長）

大久保委員長より資料に基づき 2022 年度活動報告および 2023 年度活動計画が提示された。大久保委員長欠席のため看保連担当の本庄委員長より報告があった。班活動に関する細則（案）について提示され審議された。委員会で修正の上 6 月の理事会で再度提出する事となった。2023 年度委員会予算　3,674,250 円。

広報委員会（上野委員長）

上野委員長より資料に基づき 2022 年度活動報告および 2023 年度活動計画が提示された。学会 HP のスマホ用サイトの運用について春恒社システム担当者と調整して検討していく事となった。2023 年度委員会予算　900,000 円

倫理委員会（若村委員長）

若村委員長より資料に基づき 2022 年度活動報告および 2023 年度活動計画が提示された。2023 年度委員会予算　250,000 円

７．理事長審議事項について

角濱理事長より資料に基づき 2022 年度活動について報告された。審議事項について下記の通り。

1. 看護理工学会、看護人間工学会との連携について

２月８日、須釜理事長、水戸理事長とで協議、本年度は各学術集会で共通セッションをもち、これからの連携の可能性を探ることとしたい。

①第 11 回看護理工学会学術集会（神戸大学､6 月 10・11 日）

「理事会企画：エビデンスに基づく看護技術の創成が期待される看護系学会の目指すもの」

各理事長が講演後今後の研究の発展性についてディスカッション

②日本看護技術学会第 21 回学術集会（熊本市国際交流会館 10 月 14･15 日）

両学会員による交流セッション開催（水戸理事、佐伯理事、武田監事）

③第４回看護人間工学会

2. 学会運営について：下記 4 点について承認された。

①副理事長職を置くことについて

理事長を補佐し、理事長に事故あるときの指示系統を明確に示すために副理事長職を置くことは、会員数が 1000 を超える社団法人のガバナンスの安定のために重要であると考える。このため、「置くことができる」規定ではなく､「副理事長を置く」という規定で副理事長職を置くこととしたい。

②副理事長職を置く際の定款の変更について

所定の手続きを経て定款を変更する。

③理事数について

副理事長を置く規定とすれば１名、以前から要望があった編集委員会を理事２名体制にするために１名、合計２名増やした上で、特別必要な事業や補佐等のために指名理事を置くことにしてはどうか。予算上は、理事会の交通費の増加が見込まれるが、遠隔会議と併用することでこの点の経費縮減は可能と考える。⇒研究活動推進委員会も理事 2 名体制にすることとなった。次回選挙時は 3 名増の理事 11 名を選出する事が承認された。

④選挙後の理事職の社員総会の決定と理事および理事長選任のタイミング

社員総会前に選挙により理事職となった者の打ち合わせの機会を設け、理事長及び指名理事を決定した後に、社員総会で理事の承認、引き続き理事長と指名理事を承認する

８．入退会審査

角濱理事長より資料に基づき入会申込者 3 件、退会届提出者 31 件について説明があり、全員承認された。

９．2022 年度決算見込み・2023 年度予算案

佐伯会計担当理事より資料に基づき一般会計、特別会計についてそれぞれ 2022 年度決算見込について説明があった。続いて 2023 年度予算案が提示された。次回理事会で決算書と予算案を承認することが確認された。

10. その他

事務局より適格請求者番号の取得について説明された。6 月の理事会で再度審議する事となった。

2023 年 4 月〇日

議事録作成人：　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（角濱　春美）

議事録署名人：

出席監事；　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（武田　利明）　（深井　喜代子）